リベラル系、新党検討
民進きょうにも結論

民進党の前原誠司代表は1日夕、枝野幸男代表代行と党本部で会談し、「全員参加」を認めない希望の党の選別方針を受けて現状を説明した。会談後、枝野氏は「何かに相談、報告する」と述べたリベラル系の前衆院議員らと新党も含めた対応を検討。2日にも結論を出す意向とみられる。衆院選は自民、公明の与党、希望と日本維新の会、共産、社民両党を含めたリベラル勢力の3者による対決となる様相だ。

＝2、3、17面に関連記事

'17衆院選
三極化の様相

どう受け止めるべきか、いろいろ考えている」と語った。

無所属で衆院選立候補（埼玉5区）はあり得るかとの質問に対しては「選択肢はいろいろなものがある」と含みを持たせた。

枝野氏は9月の民進党代表選に出馬。同党のリベラル系グループを率い、代表選で枝野氏の支持に回った赤松広隆元衆院副議長（党顧問）は「新しい政党というのは一つの選択肢として置いておかないといけない」と主張する。

同様に支援した辻元清美幹事長代行も「希望に参加せず、無所属で立候補する意向を表明している。

無所属での出馬も検討している前職荒井聡元国家戦略担当相は1日、札幌市内で取材に応じ「北海道中心に新党を立てればいい」と話した。

枝野氏は、「全員参加」を認めない希望の党の選別方針を受けて、1日午前、前原氏に電話し、状況を詳しく知りたいと求めていた。玄葉氏は、希望の党の若狭勝前衆院議員や細野豪志元環境相と公認を巡り、国会内で協議した。

若狭前衆院議員は1日のNHK番組で、今回の衆院選10日公示―22日投開票）での政権獲得は厳しいとの認識を表明した。代表である小池百合子東京都知事の衆院選出馬の可能性は低いとの見方も示した。

県内で民進党の公認候補予定者となる県内各総支部長は13人（前職5人、元職2人、新人6人）。公示が迫った現段階でも、どの政党で立候補するのか定まらない状況に、陣営関係者からは困惑や批判の声が上がっている。

宮代町長に折木氏
田島氏が当選

◇宮代町議補選開票結果（欠員1―3、選管員最終）

そうだ。投開票は8日。

森氏は今年3月まで同組合の行政経験を生かしたい。町民ファースト、町民が主役の町政を目指す」と訴えた。

折木氏は「厳しい選挙戦で子育てや福祉の改善に加え、幅広い層から支持を得た。

共同通信社調査
比例自民24％ 希望14％
内閣不支持、支持を逆転

共同通信社は9月30日、10月1日の両日、衆院選に向けて有権者の支持動向などを探る全国電話世論調査（第2回トレンド調査）を実施した。小池百合子東京都知事が率いる新党「希望の党」の結成後、初の調査。比例代表の投票先政党は自民党が24・1％で、希望の党が14・8％となった。

内閣支持率は前回調査（9月23、24両日）から4・4ポイント減の40・6％となり、不支持率46・2％が上回った。前回調査では、希望の党は「小池氏の側近らの新党」として